取扱説明書 ―― 高調波ガイドライン適合品 ―― 保管用

yamada

蛍光灯シーリング

（一般屋内専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。
お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終りましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　名	適合ランプ	最大送り容量	適合電線	使用電圧/周波数
LF-3755	蛍光ランプ　FHF32W×2	10A	VVFケーブル ø1.6, ø2.0	AC100V(±6%) 50Hz/60Hz

この取扱説明書のマークについて

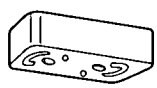
⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び傷害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
🚫　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱いの注意

取り付けられます

配線だけの場合

配線器具を取りはずします



角形引掛けシーリングボディー

丸形引掛けシーリングボディー

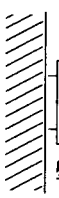
引掛け埋込ローゼット

⚠警告

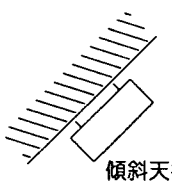
一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

❗ **ボルト吊り専用**器具です。それ以外の取り付け方はできません。
★器具の落下による、器具その他の破損やケガの原因となります。

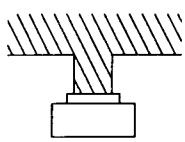
🚫 次のような場所には取り付けないでください。
★いずれの場合も落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。



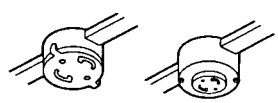
壁面直付



傾斜天井取付



不安定な天井への取付



ケースウェイにセットされている配線器具

○補強剤のない場所への取り付け
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）

🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯状態になります。また、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発熱や発火の原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラつきや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

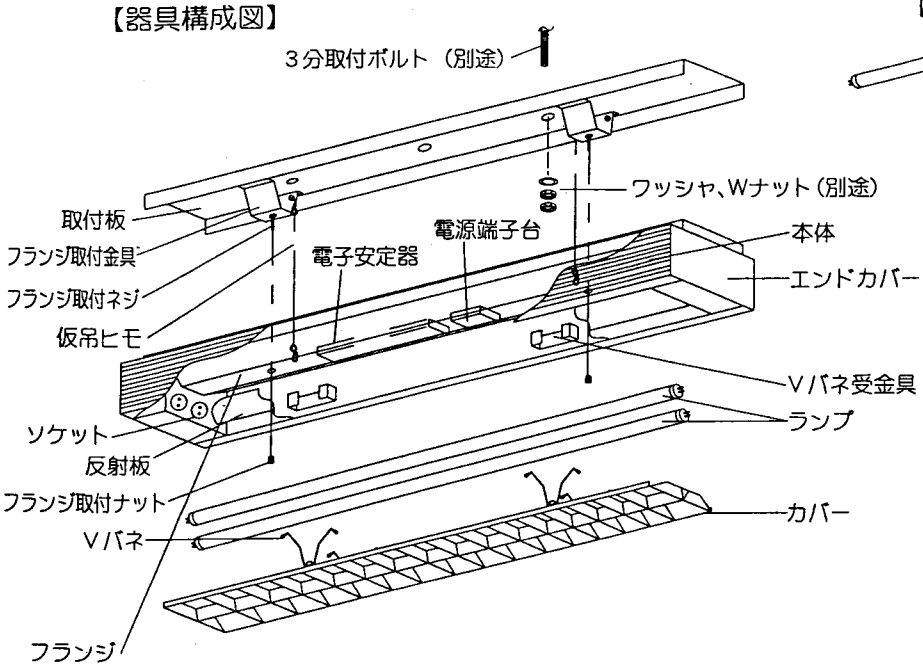
🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

❗ ラジオ・テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。
★雑音や誤動作の原因となります。

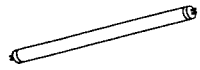
🚫 ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

各部の名称
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付属品】



高周波点灯用 ・・・・・・・・2本
蛍光ランプ
(FHF32W)

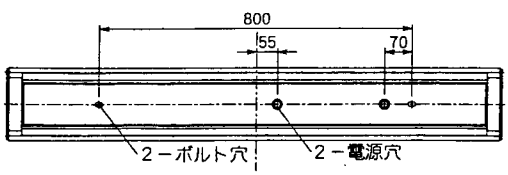
取扱説明書（本書）・・・・・1枚

取り付け場所の確認

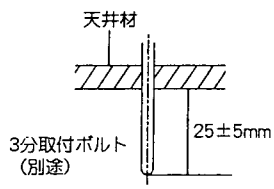
⚠警告 ❗ 器具の取り付けは、重量の耐える所に説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。

⚠注意 ❗ 3分取付ボルト（別途）は垂直に出し、天井面からのボルト先端（25±5mm）を注意してください。

■取り付けボルトピッチと電源穴位置



■取付ボルト出し寸法



取り付け方　⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

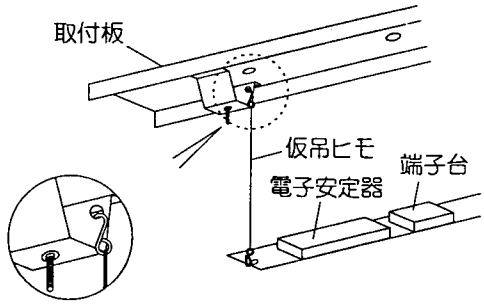
⚠警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

■器具を取り付ける前に　カバーをはずしてランプをはずしてください。フランジ取付ナットをはずして取付板をはずしてください。

1．取付板を取り付けます。

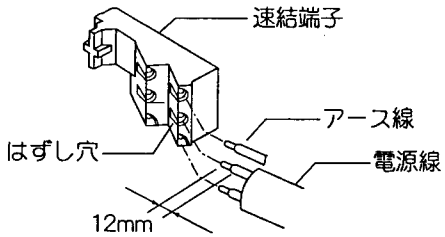
①電源穴より電源線を引き込んでください。

②取付板を3分取付ボルト（別途）に通しワッシャ、Wナットで確実に締め込んで固定してください。



2.本体を仮り止めします。

①本体に取り付けている仮吊ヒモ2箇所を
取付板の電子安定器側表示に本体の向きを合わせ
フランジ取付に引っ掛けて工具で先を閉じてください。

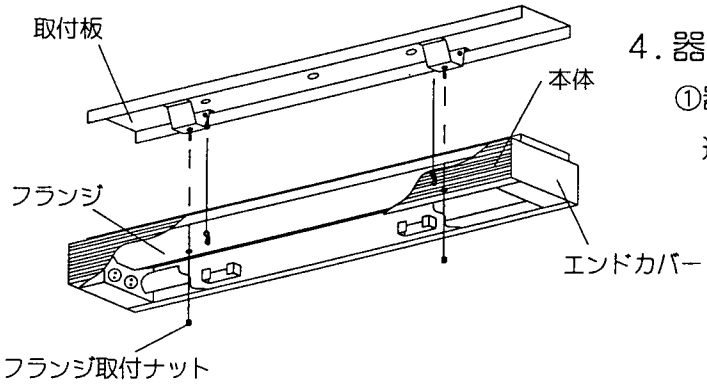


3.電源線を接続します。

①電源線を速結端子のゲージ（12mm）に合わせて芯線を剥ます。
②電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナスドライバーをはずし
穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。
③アース線を差し込み穴に差し込みます。

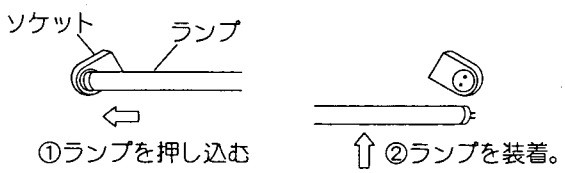
⚠警告 この器具にはD種（第3種）接地工事を行ってください。
★アースが不完全な場合は火災や放電事故の原因となります。

端子を差し込むケーブルは、必ずVVFø1.6またはø2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。



4.器具を取り付けます。

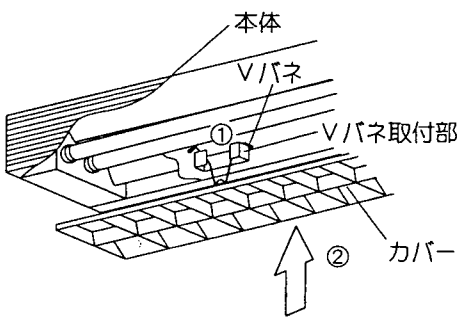
①器具を持ち上げて取付板の取付ネジをフランジに
通して、ナットで確実に固定します。



5.ランプをセットします。

①片方のソケットにランプを差し込んでください。
②押し込んだ反対側のランプからセットしてください。

⚠注意 ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「ケガ」をする恐れがあります。



6.カバーを取り付けます。

①カバーのVバネを4箇所取付部に引っ掛けてください。
②カバーを上に押し上げてください。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

❗●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。　**★火傷の原因となります。**

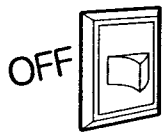
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

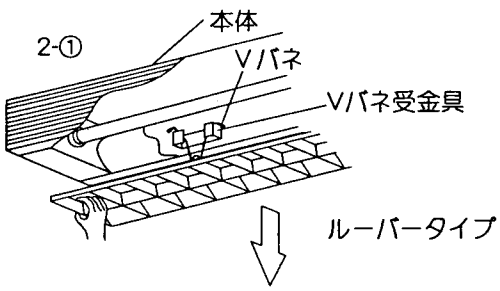
●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**

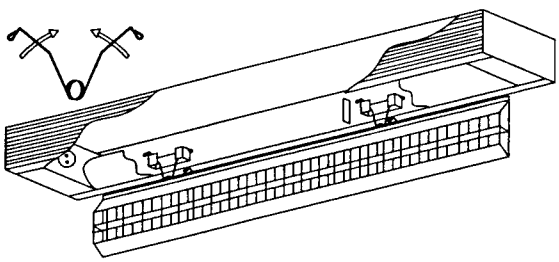
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると、不点灯や点灯不良（チラつきや立ち消えなど）の原因となります。また、インバータの異常発熱などによる事故、故障の原因となります。

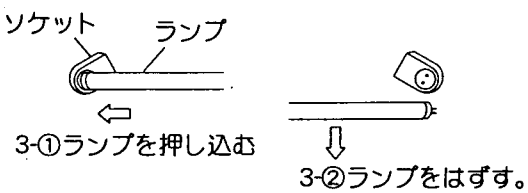
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換









1. スイッチを切ります。

2. カバーをはずします。
①カバーの両端を両手で持って下に引き下げます。
②Vバネ（4箇所）をすぼめて取付部からVバネをはずしてください。

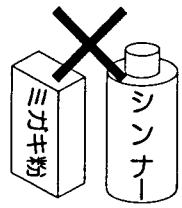
3. ランプをはずします。
①片方のソケットにランプを押し込んでください。
②押し込んだ反対側のランプからはずしてください。

⚠注意❗　ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「ケガ」をする恐れがあります。

4. 新しいランプをセットし、カバーを取り付けます。
裏面の『●取り付け方』の「5.ランプをセットします。」と「6.カバーを取り付けます。」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況、ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。